

研究代表者 所属・職：スポーツ学部・教授

氏 名：吉田 文久

研究課題名：民俗フットボール研究の教育還元の可能性ー中学 3 年間の体育理論の系統的アプローチ

研究の概要

申請者は、これまでスポーツ人類学における民俗フットボール研究として英国スコットランドのオークニー諸島に存続するカークウォールの Ba' ゲームを調査し、著書、論文等の執筆、そして学位（博士）取得につなげてきた。2024 年度の科研費公募に対して、スポーツ人類学の研究成果を教育に還元する取り組みとして、中学校の体育理論の授業の教材としてカークウォールの Ba' ゲームを位置づけ、3 年間にわたってその Ba' ゲームを教材とする授業を構想し、その効果を検証し、授業モデルを提示する研究を申請したが、採択とはならなかった。

そこで本研究では、科研費の申請の研究内容の一つとして位置づけている、カークウォールの住民に対するアンケート調査を先行的に実施する。作業としては、近代スポーツでは味わえないルールのないスポーツの楽しさ(1 年生)、ルールがない中で求められる自己規律(2 年生)、伝統スポーツの存続への思い、地域づくりの視点からのゲームの文化的・社会的意義(3 年生)を学習内容とする授業に有用な情報を得るためのアンケートを作成し、調査を実施する。その Ba' ゲームから導き出された内容を 3 年間にわたって系統的に学ぶ体育理論の授業に位置づけ、その授業によって、生徒が文化としてのスポーツの姿を知り、勝利至上主義的近代スポーツを批判的に見る目を養い、ルールの意味やスポーツの価値について考える学習につなげたい。

達成状況・成果内容

まず、カークウォールの住民へのアンケートの依頼に向けて、25 年前に実施したアンケート内容を再検討し、用紙によるアンケートだけではなく、Google Form を用いたアンケートを作成した。25 年前の内容を修正する作業では、英語科教育学を専門にする知人のサポートを受けながら修正版を作成した。また、Google Form によるアンケートについては業者に依頼し、不備がないように準備した。そして、2025 年 2 月に現地カークウォールを訪問した。Ba' ゲームの委員会のメンバーと面会し、アンケートの趣旨を理解してもらい、実施方法、回収方法などを確認し、実施を依頼した。アンケートは、2025 年 5 月中には回収する予定で了解を得ることができた。

一方、地元で写真業を営む知人と面会し、授業に有用と思われる写真を提供してもらうことができた。知人は長年、地元新聞やゲームの広報誌に写真を提唱している人物であり、今後こちらからの資料提供の求めに応じてくれるよう依頼し、了承を得た。

また、並行して中学校の体育理論の授業づくりについて現場教師との検討会を実施し、試行的実践も行っている。

科研費採択後の研究活動の前倒しとして取り組んだが、順調に進めることができ、また、2025 年度の申請が採択されたことから今後 3 ヶ年の研究活動をよりスムーズに進展させていけることとなった。